

# Maple 14 における言語およびシステムに対する変更

Maple 14 には言語およびシステムに対する以下の変更が含まれています。

## ヘルプブラウザ

- `interface(helpbrowser=standard)` を設定しておくことで、どのインターフェイスからもスタンダード GUI のヘルプブラウザを起動してドキュメントを表示することができます。すなわち、コマンドラインおよびクラシックインターフェイスを使用しているユーザーに対しても、文書内のハイパーリンクや全文検索、コンテンツのテーブルが表示可能になります。さらに、Maple のスタンダードインターフェイス固有の機能を使用して作成されているため、以前はクラシックやコマンドラインインターフェイスのヘルプでは表示できなかったヘルプページも利用できるようになります。これには、いくつかのヘルプページ、サンプルワークシートおよび Maple Portal のページが含まれます。 `helpbrowser` 変数の詳細については、[interface](#) を参照してください。

## Eval および rtable

- [Eval](#) は行列など rtable 構造を処理できるようになりました。

```
> Eval(Matrix([[x^2 + y]]), {x=3, y=2}) mod 5;  
      [ 1 ]
```

 (2.1)

## RootFinding[Isolate] における RegularChains オプション

- [RootFinding\[Isolate\]](#) では、多項式の実数根の分離法が選択できるようになりました。手法は、F. Rouillier による RealSolving (RS) C ライブラリに基づいた“RS”法と、M. Moreno Maza などによる [RegularChains](#) パッケージに基づいた“RC”法から選択できます。

```
> with(RootFinding):  
> F := [x^2-2, y-1];  
      F := [x2 - 2, y - 1]
```

 (3.1)

```
> Isolate(F, [x,y], method="RS");  
      [[x = -1.414213562, y = 1.], [x = 1.414213562, y = 1.]]
```

 (3.2)

```
> Isolate(F, [x,y], method="RC");  
      [[x = -1.414213562, y = 1.], [x = 1.414213562, y = 1.]]
```

 (3.3)

## 関連項目

[Index of New Maple 14 Features, Programming and Connectivity Changes in Maple 14](#)